

55P

0223

第三十軍作戦記録

昭和二十三年八月

復興局資料調査部

陸
軍

1055

本記録は第三十軍参謀中佐 又朶 正彦が
昭和二十三年六月 ソ連ヨリ 歸還後 其ノ記憶ヲ
述リテ 記述セルモノナリ

又朶 中佐 略 歴

一、自昭和二十年六月十五日
至 今 年 七月三十一日

第三方面軍参謀

二、自昭和二十年七月三十一日
至 終 戦 時

第三十軍参謀

目次

陸軍

第一 昭和二十年六月十五日軍司令官 師田長會同ノ

際指示セラルル 関東軍作戰計畫(第三方面軍
關係)ノ要旨

第二 第三十軍ノ作戰準備

第三 開戦時ニ於テ第三十軍ノ状況

第四 作戰經過

第五 總括的所見

(高橋久晃堂納)

1058

第五 總括的所見

獨ソ戰ニ偉大ニ轉機ヲ作ツタ「スターリンググランド」ノ會戰ト
 日ソ戰ニ於ケル新京ノ末路ヲ併セ考ヘルト夫々客觀的
 情勢ハ大ニ異ナルケレトモソ軍ノ底力ヲ感シムテアル
 即チ當時ノソ連ニハ英米トクフ威大ナ後方カラノ
 推進力カアリ有形無形トノ後援ヲ與ヘラレタリ
 新京ニハ夫レカカツタ
 以下一ニソ軍ノ底力ニ就テ私見ヲ述ヘ參考ニ資ス
 ンコト思フ

一 物質力

大新京ノ防衛モ大砲ト名ノツラモガ三八野砲一門十榴
 一門高射砲約ニ十門ヲ大口径父砲ハ一門モナク
 歩兵ノ小銃裝備スラ不足ニテ居タ
 人ガ集マツテモ必勝ノ信念ハ湧カズ

陸
軍

1059

大口径の火砲が林立して惜し氣もなく火を吐く
 スターリングフォードの攻防戦の映画を見せ世夏多事カアルが
 新京ヲ守ツタ日本軍の装備、實ニ五十年前ノ
 軍隊ハイフモ過言テナカツ
 新上京ヲ戦斗ガ惹起
 シカツタ事ヲセムラモノ辛ヒト思フ
 八月十九日 敵機甲部隊ノ先頭ガ新京附近ノ
 連京線ニ到着シタガ當時ノ状況ニ雨天續キデ
 道路ハ泥濘車輛ノ行動困難デ肉攻等ノ好機
 テハアツタガ之ニ使用スル爆薬ハ無カツタ
 米口カラ物質的援助ハアツタラフガナクモ私共が見タ
 ソノ一線ノ戰鬥車輛、火砲ハ大部分ハリ連製衣
 ニアツタ（自動車、自動車ハ米口製衣ガ多アツタ）
 國土ノ重要ナ地域ヲ戰場ニシテ荒廢ニ歸セシメ七百萬
 ノ兵員ヲ喪失シタ國ガ戦争ノ必要トスル兵器彈藥

（高橋久是堂納）

ヲ平氣ニ工場ヲ戰場ニ送ツル。軍人ハ無限ノ國力ヲ信
シテ戦争ヲスル。之よりシテ近代戦ニ於ケル軍ノ精神力ハ
出ナリ。ソレヲ之等ノ推進力ヲナシタモノハ、コルネーズ
ソフホーズ、MTC、底力ヲフルコトヲ銘記スル必要ナル
コルネーズ・ソフホーズハ膨大ノ軍隊ト工場労働者ノ
ノ後方ヲ確保シタ。之等ノ物質的力ノ基礎ヲシタ
社會主義的經濟機構ノ力ヲ絶對ニ見逃スツエ行カナイ
ニ民族政策ノ成功

戦國ノ困難ノ場合 朝鮮民族モ 滿洲口軍モ
関東軍ニ從テ來テカツタバツテナリ 日本軍ニ銃ヲ
向ケタ

タタル、ウズベック、タタール、言フタ東洋民族一而モ
帝政時代ニ少數民族トシテ大ロシア、白ロシア、ウ
クライナカラ迫害セテ居タ民族ガソ連人トナツテスターリン

グラド、困難十會戰ヲ遂行シタ 固ヨリ軍ノ中核ヲ、
 ナス コミナル、強權ガ與ヘテ力ガアツタロウケレトモ
 革命以來民族平等ノ大原則ノ上ニ立ツタ政治ノ
 カテアルト思ヘフ
 三、政治教育成功
 軍人ハ政治ニ拘ラス唯一途ニ己カ本令ヲ守ル様ニ教ヘ
 うシテ来タヌ必勝ノ信念モ信仰的ヲ理論的基礎
 ガ稀薄ニアツタ様ニ思フ
 阿南大將ガ口癖ノ様ニ「自エロノ不滅ヲ信セシ者ハ
 神勅ヲ疑フノ罪輕ラヌ」ト松隈先生ノ語ヲ引用
 シテ太平洋作戦ノ戦況非ニ時々叱咤激勵シテ
 居シタ。私達モ有難ク言ハサレタル思ツテイナ
 軍隊ノ末端迄 滲透シテイル黨員ト
 ト、黨中央本部員會ノ指令ヲ末端迄忠實ニ傳ヘ

23

0820

陸 軍

自ラ其ノ先頭ニ立ツテ安身行ス

政治ト戦争ハ全ク一体デアリトイフヨリ戦争ハ政治ノ一部分
デア

彼等ハ今ノ次ノ戦争目的ガ絶対正義ノ戦争ニアリコト

「フリスト勢力」平和ヲ愛好スル世界ノ民主勢力ヨリ必然的

ニ潰滅スルコト「社会主義國家」ノ平和政策ヲ名実

共ニ標榜カスル「國家」ニ「ト」ノ「史」必然トシテ資本主義

「口」家ハ死滅シ社会主義「口」家ノ世界ガ来ルコト」

誰ニ聞カレテモ明快ニ説得シ得ル理論的武器ヲ持ツ

戦争ノ推進力デアリ五ノ年計画ノ成果ハ「グラフ」ニヨリ

「オスター」ニヨリ数字ニヨリ詳細ニ説明サレ兵士ハ理論

的ニソ連コソ民主主義ノ城砦デアリ政權巴第一ノ

大工業「口」デアリコトヲ確信シテイ

「ウ」政治人故云々日本軍「テ」ハ欠ケテ居タ様ニ思フ

1063

四 祖國愛

特攻隊 肉攻等、日本軍ノ專賣ノ様ニ宣傳サレ
 重要ノ戦力ノ様ニ考ヘタ 然レ赤軍ノ機関紙
 ヲ見ルト 最後ノ一兵迄陣地ヲ死守シテ分隊爆薬
 シテイテ戦車ノ下敷ニシタ兵士 戦車ニ體當リシヲ
 戦闘機等日本ノ戦陣訓ヲ其ノ儘實行シタ美談
 ガ独ノ戰場到ル所ニ出来タ
 國民血ヲ汗ノ結晶ナリ 三次ニ及ル五年計畫ノ成果
 ヲ破壊ニ行ク ヒットラー ドイツニ對シ憎シムハ
 本能的ニ祖國防衛ニ衆心ヲ歸一サセ愛國的情熱
 コ沸ラセタ

特攻隊 肉攻等ハ何モ日本軍ノ專賣ニテイクトラ
 銘記シタイト思フ

五 結 言

(高橋久是實明)

ロシヤ人ト言ハバ鈍重デ馬鹿ノ標本ノ様ニ教ハツテ
 來タシ確カニ大衆ニソウ言ツタ人が居ル
 然レニ年有半ノ浮庸生活ノ中ニ衆是ノ中ニ
 優秀ナリ黨員、政治部員ノ活躍ヲ見タ
 ソ軍ヲ運送シテモ決シテ之レ等馬鹿ナロヤ
 人デハナク六十幾種ノ複合民族ヲ母見、共產黨
 トイフ鋼鐵ノ心棒ノ嚴存スル限リ絶對ニ馬鹿
 ニシテハナクゾトヲ強調シテ所見ヲ結ビタイ思フ

陸

31

1065

(高橋久是堂明)

1066

[illegible]

陸

541

1067

(高橋久見堂納)

1068

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>